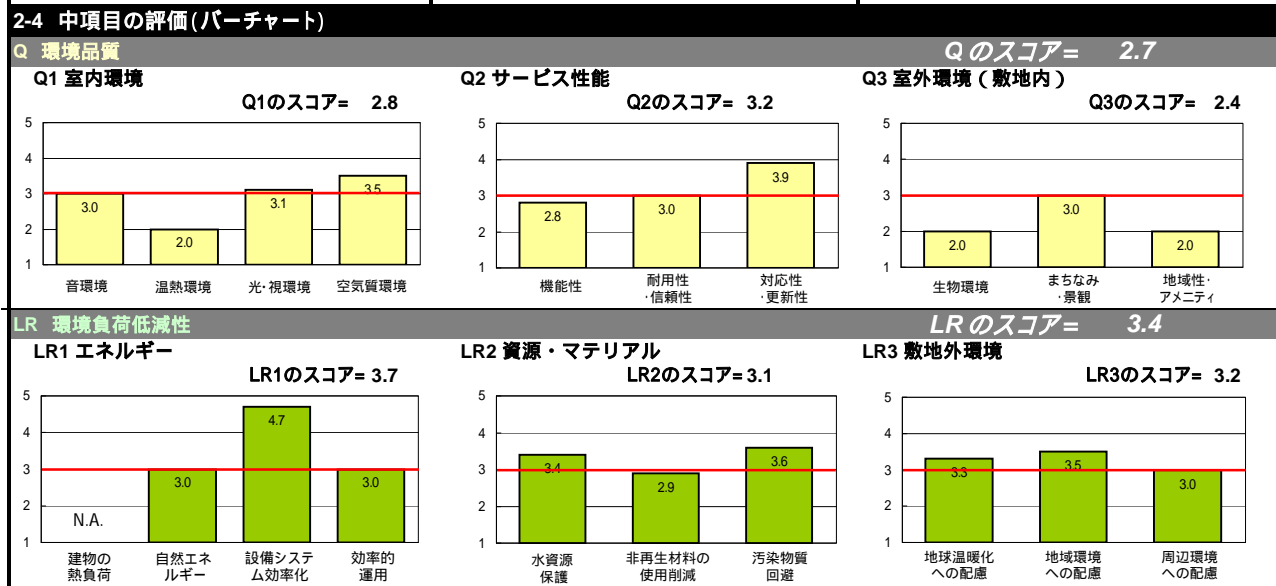
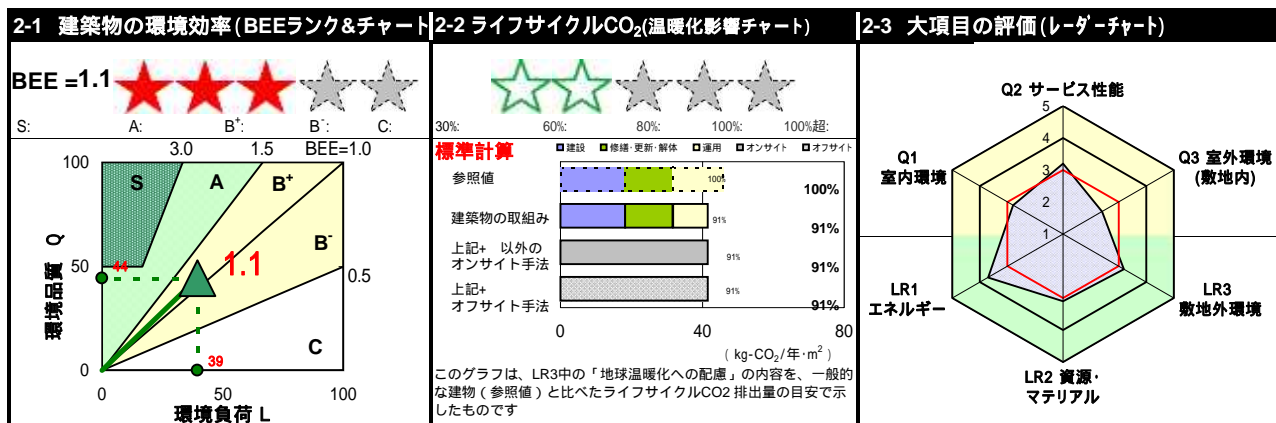


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)厚木物流センター建替工事	階数	地上 6F
建設地	愛甲郡愛川町中津字桜台4014	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条指定地域	平均居住人員	99 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年12月 予定	評価の実施日	2012年4月25日
敷地面積	7,058 m ²	作成者	(株)フクダ・アンド・パートナーズ
建築面積	3,168 m ²	確認日	2012年5月1日
延床面積	11,618 m ²	確認者	(株)フクダ・アンド・パートナーズ



3 設計上の配慮事項		
総合 倉庫として効率、安全、安心を具体化する設計となっている。		その他
Q1 室内環境 外壁、屋根裏の断熱材設置等により空調負荷の低減に配慮している。	Q2 サービス性能 耐久性、補修性に優れた材料を使用する。	Q3 室外環境(敷地内) 既存樹木の保存を行なうと共に新たな植栽を行っている。
LR1 エネルギー 高効率機器、LED照明の採用で設備システムの高効率化を図っている。太陽光発電設備を採用している。	LR2 資源・マテリアル 汎用性の高い材料と高性能で効率のよい材料をバランスよく採用する。	LR3 敷地外環境 空調室外機を高所に設置し、周辺インフラへの影響を抑制する計画とする。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい